



大田区バスケットボール U15 アカデミー教室

(募集要項)

2024年 5月

1. 教室目的

- (1)バスケットボールの普及とレベルアップに貢献することを目的とする。
- (2)バスケットボールをしたい子供たちに、プレイをする場所を提供する。
- (3)選手の成長に必要な基本、基礎技術の徹底した一貫指導を提供する。
- (4)技術のみならず広い視野で子供を育成する。

2. 教室概要

毎年4月～3月を年度とし、原則として月3回の教室を開催

3. 教室内容

(1)開催日時

月曜日 19:00～21:00

(2)会場

蒲田高校 東京都大田区蒲田本町1丁目1-30

※上記開催日・会場は原則で学校行事等により変更がある。

(3)対 象 中学生（一部小学生）

(4)定 員 1クラス20名程度（男女合計40名）

(5)内 容 各選手のスキルや基礎技術向上を目的とする。

試合で活かせるスキルやファンダメンタル、次のカテゴリーで活躍するための準備を選手一人一人と対話しながら個々の課題に合わせて取り組む。

4. 会費について（以下、全て税込価格）

- (1) 入会金 3,300 円（2年目以降は年会費として5月頃に徴収）
- (2) 月会費 7,700 円

※兄弟姉妹が2人以上参加する場合は2年目以降家族割あり

入会金 550 円引き（2,750 円）/人
年会費 半額（1,650 円）/人
月会費 1100 円引き/人

- (3) 必要用具は個人負担

（ボール・ボールケース・バスケットボールシューズ等）

- (4) その他

- ・保険は主催者で一括加入（JSCC スポーツ安全保険）
- ・会員資格は1年度単位（4月～翌3月）
- ・納めた入会金、月会費の返納はなし
- ・月会費の納入は、クレジットカード・ペイパル・銀行引落・コンビニのいずれか

（別資料「ご入会手続きのご案内」参照）

5. 指導者

- (1) 男子ヘッドコーチ 松田大地

【略歴】

Bリーグ：仙台 89ers→高松（現：香川）ファイブアローズ

【資格】

JBA 公認 B 級コーチライセンス/アスリートフードマイスター

- (2) 女子ヘッドコーチ 水澤春奈

【略歴】

東京成徳大学高等学校・日本女子体育大学

荏原ヴィッキーズ（荏原製作所）・羽田ヴィッキーズ（現：
東京羽田ヴィッキーズ）

CHATSNOIRS（ヤマト運輸バスケットボール部）ヘッドコーチ

【資格】

公認バスケットボールコーチ JBA 公認 A 級コーチ

保健体育教員免許保有（中学、高等学校教諭）一種免許

6. 入会方法

体験された入会希望の方は、その旨を指導者か事務局まで連絡をお願いします。希望者のみに「入会のご案内」手引きを送信か配布いたしますので、それに基づきホームページから申込みをお願いします。

【体験会申込み】

URL https://otasc.tokyo/?page_id=951



7. その他

*クラス編成、場所、時間等は参加人数などによって随時対応します

*体験入学、見学は随時受け付けます

(必ず事前に事務局までご連絡ください)

*教室規約等の遵守をお願いいたします(規約は別紙4を参照)

8. 主催：(一社) おおたスポーツコミッション

共催：NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット

協力：東京羽田ヴィッキーズ・東京都立蒲田高校

主管：(一社) おおたスポーツコミッション U15 事務局

NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット

9. 問い合わせ

(一社) おおたスポーツコミッション

理事長：桑田 健秀 (クワタ キヨヒデ)

担当：翠川 恵莉菜 (ミドリカワ エリナ)

*事務局：〒143-0026 大田区西馬込 2-31-3-103

*Tel:03-3776-5113 Fax:03-6869-9436

*HP アドレス otasc.tokyo

バスケットボール U15 アカデミー規約

第 1 条 名称及び事務所

この法人は、一般社団大田区スポーツコミッションと称し、事務所を以下に置く。

大田区西馬込 2-31-3-103 TEL3776-5113 FAX6869-9436

第 2 条 目 的

バスケットボールを中心に、特にジュニア層のスポーツの振興を通して、地域社会の活性化と子供から大人までを対象に「やって、見て、参加して」楽しめる生涯スポーツを提案し、家族の絆回復や青少年への情操教育と健全育成、および健康増進や健康管理としての予防医学・栄養学等の普及を積極的に取り入れて、元気で健康な連帯感あふれる「町づくり」「地域のコミュニティづくり」と、そして「心豊かな人間づくり」「家庭づくり」に貢献するとともに、文武両道を目指し勉学及び文化活動を通して、スポーツ文化の定着を図ることを目的とする。

第 3 条 対 象

小学生高学年～中学生男女とする。

第 4 条 活動内容

この会は、第 2 条の目的を達成するために、次の活動を行う。

1. スポーツの定期教室の開催および地域との交流を行う。
2. バスケットボール技術の向上を目指す。
3. 勉学含め各種の文化活動を行う。

第 5 条 会 員

1. この会への入会を希望する場合は、指定の用紙で届け出て受理され会費等を納入した日から会員となる。
2. 会員資格は 1 年間で 4 月から翌 3 月末までとし、継続意思のある場合は自動継続とする。
3. 各クラス募集定員を超えた場合は、別に定める。
4. 会員は、各種の規約等を遵守する。
5. 退会の場合は、退会月の前月 25 日までにホームページの休会退会ページより送信する。受理された月末を持って退会となる。

【休会退会ページ】

URL https://otasc.tokyo/?page_id=985



6. ケガ・病気等により一ヶ月を超える長期での休会の場合は、前ページの休会退会ページより申請する。一ヶ月を単位に当該月会費を免除し、管費相当として一人当たり 1,100 円を徴収いたします。
7. 会員が「おおたスポーツコミッション」或いは「ピボットフット」の名誉を傷つけるような行為をした場合、ならびに会費等を滞納した場合、会員資格は消失する。

第6条 会 計

1. この会の経費は、会費その他をもってあてる。
2. 会費は、月会費として教室ごとに要項等で設定されている会費を納める。また、途中やむない事由で退会する場合は、当該月会費は納めるものとする。
- 1、月会費の他に入会金として 3,300 円(税込)を収める。但し、次年度以降教室参加を継続する場合 2 年目からは、年会費として 3,300 円を収める。但し、教室によって異なることがある。
また、家族が所属している場合や 2 教室以上所属されている場合は家族割として入会金の
場合 550 円引き、年会費の場合半額の 1,650 円とする。
4. 収めた入会金及び各会費は、返納しない。
5. 試合及び合宿等の参加費用、及び用具代は、必要に応じてその都度徴収する。
6. 会計監査は、税理士に委託する。
7. この会の会計年度は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする

第7条 役 員、指導者

役員は、理事長 1 名、副理事長 2 名、理事若干名、会計 1 名を置く。指導者は、各種目で経験豊かな指導者が行う。

第8条 保 険

法人として保険に加入する。

第9条 練習場所、日時

1. 場 所 主として公共施設及び小中学校体育館他
2. 日 時 教室別に定める

第10条 規約改正

この規約は、理事会の議決を得てこれを変更する事が出来る。

(付則) この規約は、平成 28 年 4 月 1 日から改定する。

この規約は、令和 3 年 4 月 1 日から改定する。

バスケットボール U15 アカデミー 基本理念

1. 指導理念

- (1) スポーツをする事の楽しさを共に分かち合おう
- (2) チームワークとスポーツマンシップの理解の徹底
- (3) 年齢を超えた縦の人間関係の構築
- (4) 勇気と決断で失敗を恐れない人づくり
- (5) 文化活動を含め多角的な人づくり

2. 指導方針

- (1) ルールの遵守とコートマナーの徹底から生まれる秩序から心地のよさを体感させる
- (2) スポーツの原点である遊び心を刺激し、選手の感性や創造性及び柔軟性を大事に育てる
- (3) 基本の重要性と、その繰り返し継続する事から生まれる達成感を味あせる
- (4) 勇気で決断できる自信を体得するための基本技術を徹底させる
- (5) 理論的で科学的な指導と明確な目標と目的をもった練習で、直ぐにゲームに生かせるプレーを習得させる
- (6) 子供の目線で、オーバーなパフォーマンスと言葉でわかり易くわかるまで説明をする
- (7) 大きな声での挨拶や返事の徹底と礼儀と礼節を重んじる指導を行う
- (8) 上級者や一流選手のプレーに触れる機会での、視覚からの上達も促す

3. 指導者心得

- (1) 常に安全に常に気を配り事故・怪我の無いように練習環境を整える
- (2) いつも明るく笑顔で基本を根気よく、生徒一人一人の練習は「機会均等」を心がける
- (3) 適切かつ判りやすい話し方で、指導内容や注意事項の徹底を図る
- (4) 生徒に対しては、ある程度の威厳を保った態度で接し、馴れ合いにならぬよう勤める。(事故防止のためにも。)
- (5) 技術的な練習に際し、「ダメ・違う」などの否定的な言葉は使わず、褒めて伸ばすよう勤める
- (6) 清潔な身だしなみで礼節と礼儀をもって生活する
- (7) 全てにおいて率先垂範で、選手のよい見本となる
- (8) 指導者同士は互いに尊敬し、良いコミュニケーションを図る
- (9) 謙虚に貪欲に、自らの人間性を研鑽し、良い習慣を身に付ける

- (10) 練習中は座らない
- (11) 極めて高い集中力
- (12) 生徒一人一人の、教室以外の生活環境にもアンテナを張り、性格、心理状態、嗜好、家庭環境などを知り得る範囲で把握する。その情報を、スランプや問題行動のあったときに解決の糸口としたい
- (13) 感染症対策もガイドラインに則り実施する

4. 選手心得

- (1) 大きな声での挨拶と返事をする
- (2) 集合時間は10分前に
- (3) 指導者の話の時は私語禁止
- (4) 相手の立場にたって考える皆なのチーム
- (5) 失敗を恐れず積極的にトライする
- (6) 準備・片付けは全員で行う、集合は駆け足で
- (7) 切り替えはすばやくする
- (8) 良い習慣を身に付ける
- (9) 仲間はずれを作らない
- (10) お互いを尊重しあう
- (11) 年齢の違う友達を作ろう
- (12) 自分以外の人を練習を良く見て、観察し、よいところを自分のものにしよう
- (13) 感染症対策も各自がガイドラインに則り行う

5. 父兄心得

- (1) スポーツのもつ力への信頼を
- (2) 試合も練習も同じ価値
- (3) 継続は力なり
- (4) 子供を信頼し暖かく見守る
- (5) 個性に合った成長を、他との比較はしない
- (6) 家庭での感染症対策にも注意を払う